

2010年(平成22年)10月22日(金曜日)

太陽光で急速充電

御嵩町と協定 名古屋の企業

大規模災害時などに威力

御嵩町と相互連携協定を結ぶ「キャリアオ技研」(名古屋市中村区)は二十一日、御嵩町商工会で会見し、持ち運び可能なソーラーパネル蓄電池を使った急速充電装置を開発したと発表した。電池の種類を問わず、最大で従来の五倍速で充電でき、大規模災害時に携

帯電話の充電などに活用が見込めるといふ。同社は自動車・航空機部品設計のほか、クリーンエネルギーを使った電動機開発も手掛ける。開発したのは、KYBが製造する背負うタイプの重さ九キのソーラーパネル蓄電池に対応した充電システム。手のひらサイズの

ボックス型で重さ約六百㌔。鉛蓄電池やニッケル水素電池、リチウムイオン電池のいずれにも、アダプターなしで直接充電できる。携帯電話だと一時間で十分を同時に充電可能という。

キャリアオ技研の富田茂社長(四七)は「停電しているでも自然エネルギーを使って通信維持に貢献できる。量産が可能になれば、御嵩町内の企業での製造委託を検討したい」と話している。(斉藤明彦)



ソーラーパネル蓄電池を使った急速充電装置を手にとる富田社長＝御嵩町商工会で